

心のコップを上向きに！

※オンラインでスライドを用いてお話しています。

本日で令和6年度後期前半が終了します。2024年の登校最終日を迎えました。ここでは「心のコップを上向きに！」というお話をします。

まず実験です。2つの「向き」のコップにオレンジジュースを注ぎます。①まっすぐ上を向いている ②斜めを向いている。当然、予想もできるでしょう。ここにコップとオレンジジュースを用意しました。確認のために、実際にやってみます。（画面の前で実演）

結果は見ての通りです。まっすぐ上を向いているコップには、ジュースがなみなみと注がれています。それに対し、斜めのコップには少ししかはいついていません。一目瞭然です。

この結果を、心の中にあるコップに置きかえて考えてみます。心の中に実際にコップがあるわけではありません。周りの人（お家の人や先生など）のアドバイスや教えなどを受け入れる心をコップに例えているのです。先ほどのオレンジジュースはアドバイスや教えということになります。コップが上を向いていれば、周りの人のアドバイスや教えなどをどんどん受け入れ、多くのことを身につけることができます。それでは、コップが傾いていればどうでしょうか。ジュースが少ししか入らないのと同じで、周りの人のアドバイスや教えなどを十分に受け入れることはできず、身に付くことは限られてしまうのです。では、下を向いていれば・・・、何も入らないどころか、周りが汚れてしまいます。周りの人のアドバイスや教えが逆効果となってしまうのです。

せつかくであれば、心のコップを上に向けたいものです。上に向ける方法はあるのでしょうか？実際に「心」を外にとりだして、向きを変えることはできませんから、すぐにできる簡単な方法はないのかもしれないかもしれません。それでも、方法はあると思っています。宮澤章二さんの詩の一節に「〈こころ〉はだれにも見えない / けれど〈こころづかい〉は見えるのだ」とあります。聞いたことがありますね。「こころづかい」のように、目に見える言葉や行動をまっすぐに正しくすることで、心のコップも上を向くのではないかと、私は考えています。例えば、朝ごはんをしっかり食べる、「ありがとう」「ごめんなさい」をいう（熊谷の子どもたちは、これができます！4つの実践）、脱いだ靴はそろえておく、時間は守る、服装や持ち物などを整える、本校が重点を置いている「無言集会」などの行動が挙げられます。このような、特別なことではなく、当たり前のことを当たり前に行うことが大切なのだと思います。

今、皆さんの心のコップは上を向いていますか。目に見える自分自身の言葉や行動を正しくまっすぐにしてください。心のコップはおのずから上を向いてきます。そうなれば、周りの人から多くを学び、多くのことを受け入れ、吸収し、大きく成長するのだと思います。明日からは冬休みです。いつもよりは、まとまった時間がとれます。学校以外の活動に全力を注ぐ人もいるはずですが、画面には、ホームページで紹介した生徒の中から数名を載せています。頑張ってくださいね。3年生は進路に向けた学習が何よりです。

冬休み明けの1月8日、皆さん元気に登校してください。楽しみに待っています。